

# 5 がっひかりごう

平成 29 年 5 月 1 日 輝 保 育 園

心地よい風が吹き、さわやかな新緑の季節となりました。新年度が始まり、1 カ月がたちました。朝の悲しい別れが続いた新入園児も、友達や保育士と挨拶を交わしたり、自分の好きな遊びを楽しんだりしています。表情が和らぎ、笑い声も聞こえてきます。園生活に慣れてきた様子が伺えます。しかし、連休明けには継続児にも登園を渋ったり、不安を表したりすることも想定されます。お子さんが安心して園生活が送れるように、ひとりひとりの興味・関心に寄り添い自分なりに遊ぶ楽しさを知らせていきます。また、ご家庭とも連携をとりながらすすめていきます。ご協力よろしくお願いします。

## 【【 保育参観 】】

5 月 15 日より 5、3、1、2、4、0 才児の順で保育参観を行います。

午前中は、子どもたちが園でどのように過ごしているか見ていただき、午後は担任との個人面談を予定しています。

家庭と園でのお子さんの姿を通して、育ちの確認を中心にお話したいと考えています。

また、給食ではお子様と同じものを試食して頂きます。

詳細は組別に別紙でお知らせします。



## ＝ ナース・レポート ＝

入園・進級して 1 カ月が過ぎました。

最近、発熱でお休みする子が多いようです。

朝は元気だったのに、夕方になって突然の高熱に驚かされたことがある方も少なくないと思います。

一方、その翌朝は熱が下がっていたので、保育園に連れて行ったら夕方にもまた発熱して連絡を受けた方もいると思います。

一般的には、熱は午前中に下がり、夕方から夜にかけて再び上がる傾向にあります。

高熱に加え、意識が低下して反応が鈍い、ゼーゼーして苦しんでいる。

また、頻回に吐いて水分が取れないなどの症状を伴うときは、すぐに医師の診察が必要です。

体にはもともと治癒する力が備わっており、お薬に頼らなくても、安静と水分補給が最も大事な治療となります。

熱が下がっても、体力が落ち、体調が万全になるには時間を要します。

油断せず、最低 1～2 日は自宅で安静を保ってください。

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ テレビが子どもに及ぼす 7 つの悪影響 - 4 ☆☆

◎ 1 番大きな問題は親子の触れ合う時間を減少させること！

テレビが子どもに与える悪影響 7 つを紹介してきましたが、最大の悪影響は親子のコミュニケーションの時間を奪うこと！

テレビをみていると子どもは夢中になってしまい、ママが何かを話しかけてもほとんど聞こえていません。もちろんその反対もあります。

発達心理学では、子どもの発達に大きな影響を与えているのは、絵本の読み聞かせや外遊びで人と関わることだと研究結果がでているそうです。

親子でたくさん会話をする事で子どもは言葉を覚えることができるし、絵本を読んであげたら子どもたちは愛情を感じる事ができます。

長時間のテレビ視聴は親が子に愛情を伝え、子どもは親からの愛情を感じる機会を奪っているのです。

毎日を思い返してください。子どもにテレビを見せていた時間を少し短くしたら親子のコミュニケーションの時間をとれそうな気がしませんか？



妊娠&子育て応援サイト  
MARCH の抜粋

## ＝ 5 月の行事予定 ＝

- 2 日 (火) バス遠足 (3、4、5 才児)
- 10 日 (水) 個人写真撮影 (お休みがないように！)
- 11 日 (木) 避難訓練
- 23 日 (火) 尿、ぎょう虫卵検査
- 24 日 (水)
- 25 日 (木) 身体測定・お誕生会

こ  
ど  
も  
の  
よ  
う  
す

たんぽぽぐみ  
0 才児



入園して 1 カ月が過ぎました。先日、男の子が泣いて、保育士に抱っこされていました。心落ち着くまで抱いていると、涙も止まり周囲を見つめます。朝のお集まりが始まり、お名前を呼ばれました。抱かれながら、保育士と一緒に手をあげます。すると、側にいた女の子が、パチパチと拍手をくれました。「寂しいけど頑張ったね！」と言っているような、そんな拍手でした。拍手をされて、不安な表情が、少し穏やかになりました。0 才児さんなので、大人との関わりが大きいですが、このような小さな子供同士の関わりも、励みになったり、勇気になったりします。小さな関わりを積み重ねながら、今月も過ごしていきたいです。連休明けは、不安になると思いますが、暖かく迎え、安心して過ごせるよう努めます。

たんぽぽぐみ  
1 才児



今年度になり、1 カ月が過ぎました。新入園児の子たちも、登園時はおうちの方と離れるのがつらく、泣いてしまう事が多いのですが、すぐに涙も止まるようになりました。抱っこして少し落ち着くと、自分から降り、玩具に手を伸ばし遊び始めています。進級児は、新しい担任と一緒に生活したり、好きな遊びをしたりして、楽しさを共有することで、少しずつ新しい環境に慣れてきています。前担当と一緒に過ごしていることもあり、時には甘えることもでき、無理なく過ごしているようです。天気の良い日は、たんぽぽ組用の園庭で遊んでいます。滑り台に自分で登れるようになったり、保育者と追いかっこをしたりと、体をたくさん動かして遊んでいます。今月も、戸外に出る機会をつくり、たくさん体を動かして遊びたいと考えています。

すみれぐみ  
2 才児



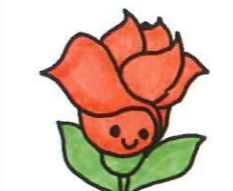
新入園児も、少しずつ保育園の生活に慣れ、泣かずに過ごせるようになってきています。保育士と一緒に、興味のある遊びを楽しみ、その中で会話やスキンシップをとることで、笑顔も随分見られるようになりました。進級児も、部屋や保育士が変わり、初めは少し戸惑う子もいましたが、好きな遊びと一緒に楽しむ中で、安心してすごせるようになってきています。「先生あのね…」とお家での出来事などを、笑顔でお話してくれ、言葉のやりとりを楽しんでいます。天気の良い日は、戸外で体を沢山動かして遊んでいます。「ちょうちょ」を見つけると「待て～！」と追いかけたり、草花を見つけると、花のつぼみを「かぼちゃがついてる」と表現したりし、春の虫や草花に触れ楽しんでます。今月も、戸外に出る機会をつくり、春の自然に触れながら楽しく過ごしたいと思います。

ちゅうりっぷぐみ  
3 才児



進級して 1 カ月が過ぎました。子ども自身が自分で行動を選択していく段階の始まりです。園庭では、様々なことに挑戦する姿が増えています。ある日、「先生見てて」と雲梯にぶら下がった男の子。雲梯の 3 本目まで進む姿を見せてくれました。その 3 日後、「先生見てて」と再び雲梯にぶら下がり、体を上手に使いこなしてグングン進んでいきます。残り 1 本というところで片手が離れましたがグッと握り直し、最後の力を振り絞って見事渡り切りました。「できた！ お兄ちゃんと一緒!!」と言った、その子の言葉がとても印象的でした。挑戦することで諦めない大切さを学び、出来たことで喜びや自信を得、認めもらう事で誇らしさを感じていきます。このような経験の積み重ねを大切に、心の成長を見守っていきます。

ばらぐみ  
4 才児



進級して 1 カ月が経ちました。初めは新しい環境に戸惑う子、気持ちが高ぶっている子がいましたが、一日の流れにもずいぶん慣れてきて、自分で出来ることは自分でしようと頑張っています。4 月にはこいのぼり作りでハサミを使った作業、ちぎって貼る作業に挑戦しました。難しく感じる子もいましたが、諦めることなく、最後まで行うことができました。4 才児は友だち関係が広がる年齢のため、トラブルもありますが、みんなを取り組む活動を多く取り入れ、集団活動の面白さや楽しさを感じてほしいと願っています。まずは保育士をよく見て、話を最後まで聞くことが目標です。5 月は新年度や連休の疲れが出やすい時期のため、体調に気を付けながら、春の自然に触れたり、戸外でたくさん体を動かしたりして楽しく過ごしていきたいと考えています。

ひまわりぐみ  
5 才児



進級して 1 カ月。新しい生活に対する緊張感もほぐれ、元気いっぱい表情をしています。初めての当番活動にも意欲的に取り組み、年長児になった喜びや自覚が感じられます。戸外ではドッジボールや鬼ごっこなどで友達と誘い合って存分に遊ぶ姿が見られます。室内では、年長児になって初めて使う玩具の使い方や約束事を確認し、ルールを守りながら活動することができるようになってきています。生活習慣については、食事のマナーを確認しました。箸の持ち方や食器の持ち方、姿勢など夫々正しいマナーは知っているけど身に付いていない事があります。今後も個別に声を掛け、身に付けていきたいと思います。ご家庭でも見直してみてください。5 月は、さわやかな気候の中で友達と一緒に活動する喜びを感じ、自分達で遊びを進める楽しさが経験できるようにします。